

機械化適性と収量性を向上させた 「新京夏ずきん」の育成



京のブランド製品のひとつである京夏ずきんは8月に収穫する黒大豆エダマメです。現在の品種(夏どり丹波黒1号、2号)にダイズモザイクウイルス(SMV)抵抗性を付与し、収量性を向上させ、さらに、機械収穫・莢取りしやすい草姿に改良して機械化適性を向上させた新品種を育成していきます。

母親

- ・紫ずきん2号
- ・紫ずきん3号

- ・SMV抵抗性
- ・良食味

H26年夏～秋(交配)



両親の開花期を合わせて交配します。
右下: 交配によりF₁世代の種子が肥大してきたところ

父親

- ・夏どり丹波黒2号
- ・夏の装い

- ・早生
(8月収穫)

H26年冬～H27年春
(世代促進)



温室内でF₁世代の個体をポット栽培し、F₂世代種子を得ました。

新京夏ずきん

- ・早生(8月収穫)
- ・SMV抵抗性
- ・機械化適性

H27年夏(ほ場選抜)



F₂世代個体にSMVを接種し、ウイルス(SMV)による葉の縮れやモザイク症状がない早生の個体を選びます。

京夏ずきんの新品種を育成するために平成26年に交配を行い、平成27年夏にはF₂世代をほ場に展開しました。

SMV抵抗性を持った個体のうち、早生で機械収穫・莢取りしやすい草姿の個体を選抜して、形質の固定を進めていきます。固定した系統は平成30年から特性評価を行います。